

平成30年度西成区運営方針自己評価 説明用資料

令和元年度第 1 回西成特区構想部会

令和元年 7 月 2 日

重点的に取り組む主な項目

経営課題		戦略	具体的取組 【平成30年度】
2	にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり	(1) まちのにぎわい創出と活性化	①西成区魅力発信事業
		(3) 福祉によるまちづくり	①西成区地域福祉アクションプラン推進・支援事業
			②単身高齢生活保護受給者のつながりづくり事業 ③地域における要援護者の見守りネットワーク強化事業
4	あいりん地域対策	(1) あいりん地域環境整備	①不法投棄対策
			②迷惑駐輪対策
			③通学路安全対策
		(2) あいりん地域を中心とした結核対策	①結核検診の拡充による患者の早期発見・早期治療 ②結核患者の支援の充実

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり
具体的取組2-1-1 西成区魅力発信事業

29予算額	2,411千円	30予算額	1,271千円
-------	---------	-------	---------

目標	目標値	H30結果
区民アンケート等で、西成区の観光スポットや歴史的名所を知っていると答えた区民の割合	50%以上	61.6%

達成

取組実績

- ・まちあるきツアーを計8回実施し、子育て世代の参加者は25名、延べ161名に参加いただき、観光資源のPRを行った。
- ・観光ガイド養成講座5回 32名
- ・熊野街道歴史ウォーク2回 100名
- ・西成情報アーカイブ事業1回29名



第1回観光ガイド養成講座



第3回観光ガイド養成講座

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

具体的取組2-3-1 西成区地域福祉アクションプラン

推進・支援事業

29予算額

821千円

30予算額

762千円

目標	目標値	H30結果
推進委員会や各部会を定期開催し、アクションプランで取り組む項目の達成度(充分取り組めている「◎」・ある程度取り組めた「○」・まだまだ不十分「△」)	すべて「○」以上	「○」以上10項目 「△」2項目

未達成

取組実績

推進委員会及び各部会の定期開催支援

- ・支援・推進委員会 2回
- ・作業部会 8回
- ・地域課題の解決にむけた専門部会 21回



バルーンアートによるつながりづくり



区民フォーラムの様子

課題と改善策

西成区では地域の団体や住民主体による居場所づくりや見守り・支え合い活動が活発に取り組まれている。地域福祉アクションプランにおいても、だれもが参加しやすい活動やイベントを通して、さまざまな「つながり」を拡げる取り組みをすすめてきた。

しかし、少子高齢化の進展やマンションなどの集合住宅の増加といった社会環境の変化に加え、生活様式や価値観の多様化により身近な地域において新たな「つながり」をつくるのが困難な状況となっている。

このような状況から、地域福祉アクションプランと地域支援調整チームが両輪となり、地域住民や関係機関と協働し地域福祉を推進してきたが、多様化する地域ニーズへの対応や複合課題の解消に向けた分野間の連携が喫緊の課題となっている。

今後は、これまでの取り組みや成果を活かしつつ、新たな西成区地域福祉計画のもと、地域住民・関係機関が連携し複雑化・多様化する福祉課題に的確に対応する推進体制を構築し取り組みをすすめることとする。

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり
**具体的取組2-3-2 単身高齢生活保護受給者の
 社会的つながりづくり事業**

29予算額	13,038千円	30予算額	12,885千円
-------	----------	-------	----------

目標	目標値	H30結果
「社会的なつながりができた、生活が改善した」と感じている利用者の割合	70%以上	社会的つながりができたと感じる:54.3% 生活が改善したと感じる:62.8%

未達成

取組実績

・あいりん地域の単身高齢生活保護受給者に対する社会貢献プログラム等の提供(毎日)、及び金銭・服薬管理等に関する支援(随時)



自主活動(ひと花笑劇団)



農作業の様子

課題と改善策

アンケート対象者のなかには長年にわたって事業を利用している者も多く、すでに既存のつながりを持っている者も多いためこのような結果になったと推測される。今後は年度ごとの新規利用者をさらに増やしていくための工夫が求められる。

生活保護担当と連携し「西成生保だより」による広報や誰でも参加できるイベントなどを開催し、さらなる制度周知に努める。

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり

具体的取組2-3-3 地域における要援護者の 見守りネットワーク強化事業

29予算額

28,965千円

30予算額

28,689千円

目標	目標値	H30結果
・地域へ提供した西成つながり名簿の更新	・全16地域	・更新15地域 ・新規1地域
・認知症高齢者の登録者数を増やす ・協力者の登録者数を増やす	・認知症高齢者の登録者数:60人以上 ・協力者の登録者数:300件以上)	・認知症高齢者の登録者:100人(累計108人) ・協力者の登録者:275件(累計304件)

達成

取組実績

- ・郵送及び訪問による同意8,371件(対象者15,533件)
- ・相談件数1,471件
- ・登録者100人(累計108人)、協力者275件(累計304件)

経営課題2 にぎわいとコミュニティが生まれるまちづくり 自己評価のまとめ

◇まちのにぎわい創出と活性化

西成区を訪れる外国人等の観光客は増加しているが、すべての観光客が、区内を周遊する状況には至っていない。今後はさらに、地域資源や区内の歴史・文化を活かした取組の充実をはかり、空き店舗の活用方法を検討するなど、地域の活性化につなげる必要がある。

◇福祉によるまちづくり

西成区地域福祉アクションプランでは、これまで様々な分野から多くの方に参加をいただき地域福祉をすすめる原動力となる「つながりづくり」に取り組み、着実に成果を上げてきた。今後は、新たな西成区地域福祉計画のもと、これまでの成果を継承するような地域住民主体の活動を支援していく必要がある。

単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業については、社会的に孤立している単身高齢生活保護受給者の生活改善のみならず、事業を通じた社会貢献活動が地域からも評価されており、これまで地域とのつながりが希薄であった受給者も地域で居場所ができ、新たな「つながり」が生まれている。今後もさらなる制度周知、参加者拡大に向け、活動の幅を広げていく必要がある。

経営課題4 あいりん地域対策

具体的取組4-1-1 不法投棄対策

29予算額

138,932千円

30予算額

166,882千円

目標	目標値	H30結果
・平成30年度の街路・公園への不法投棄量の削減	街路: 前年度以下 公園: 前年度比20%減	街路: 前年度比11%増 公園: 前年度比45.7%減

未達成

取組実績

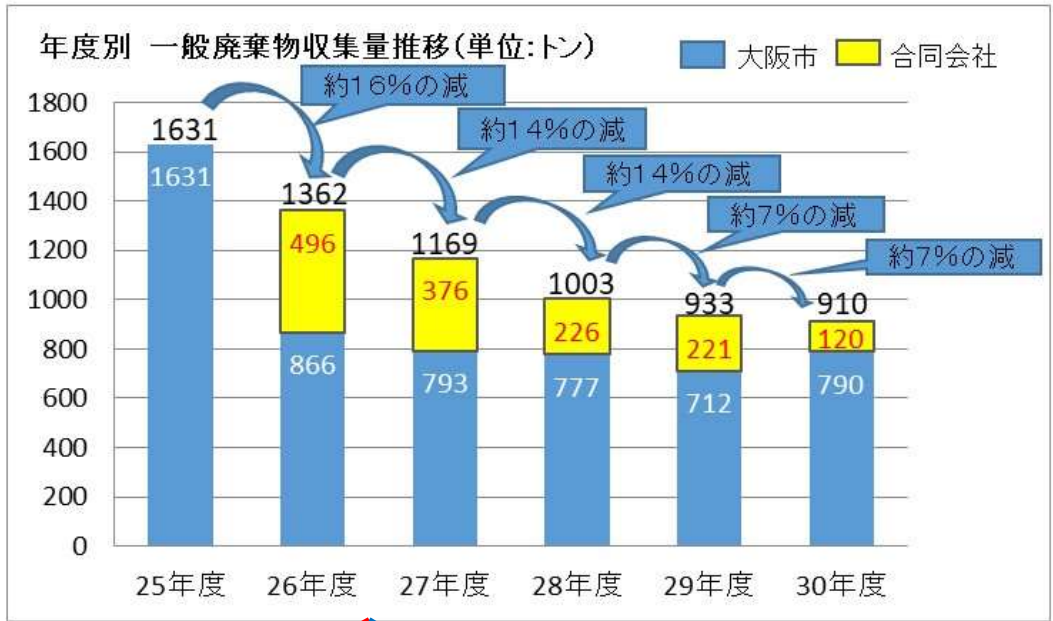
- ・不法投棄防止を目的とした巡回(毎日14時～翌6時)
- ・公園への不法投棄を防止するため、啓発拠点を設置し、家庭ごみの排出ルールなどの啓発(8月から毎日6時～14時)
- ・生活保護世帯へのごみの出し方チラシの送付 約23,000枚

課題と改善策

- ・台風の影響により9月以降、一時的に街路の不法投棄量が増加したが、11月をピークに減少傾向となっている。今後のごみ収集量の推移に注視し、台風以前の水準に戻らなければ、街路への不法投棄対策の強化を行う。

**【一般廃棄物】
不法投棄
ごみ収集量**

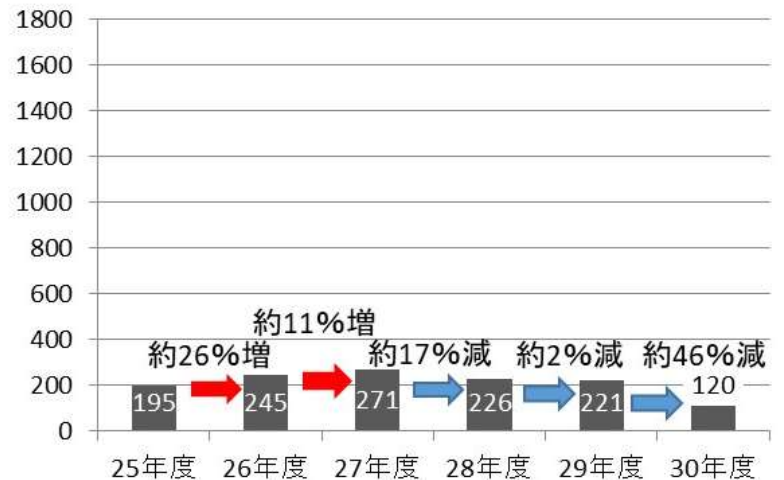
平成25年度
1,631トン
↓
平成30年度
910トン
(44%減)



街路

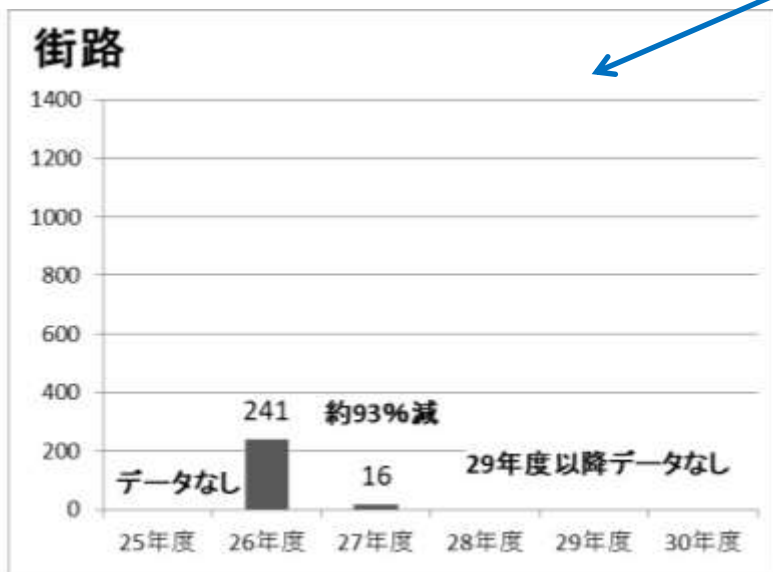
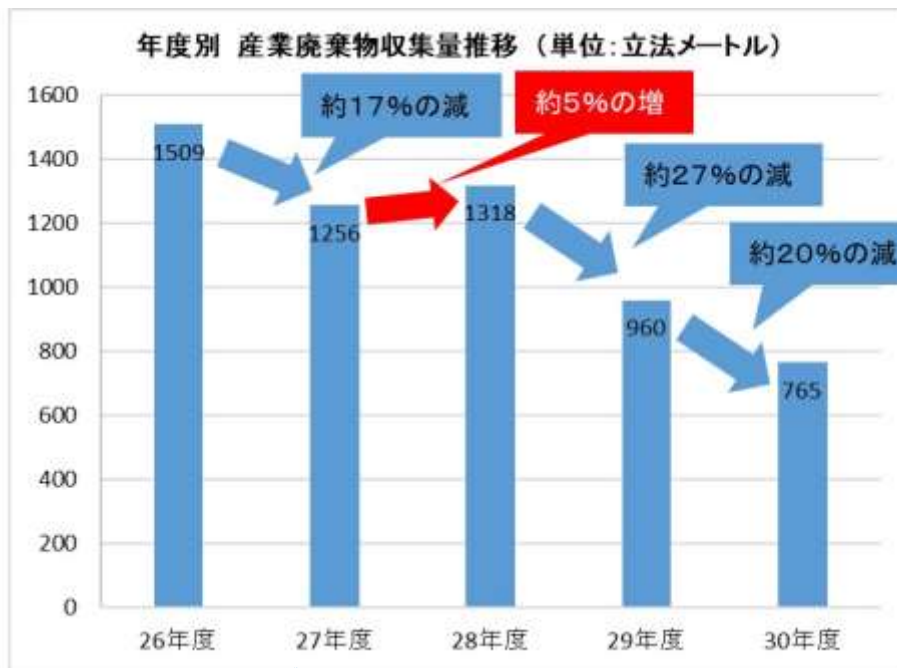


公園



**【産業廃棄物】
不法投棄
ごみ収集量**

平成26年度
1,509^{m³}
↓
平成30年度
765^{m³}
(49%減)



経営課題4 あいりん地域対策

具体的取組4-1-2 迷惑駐輪対策

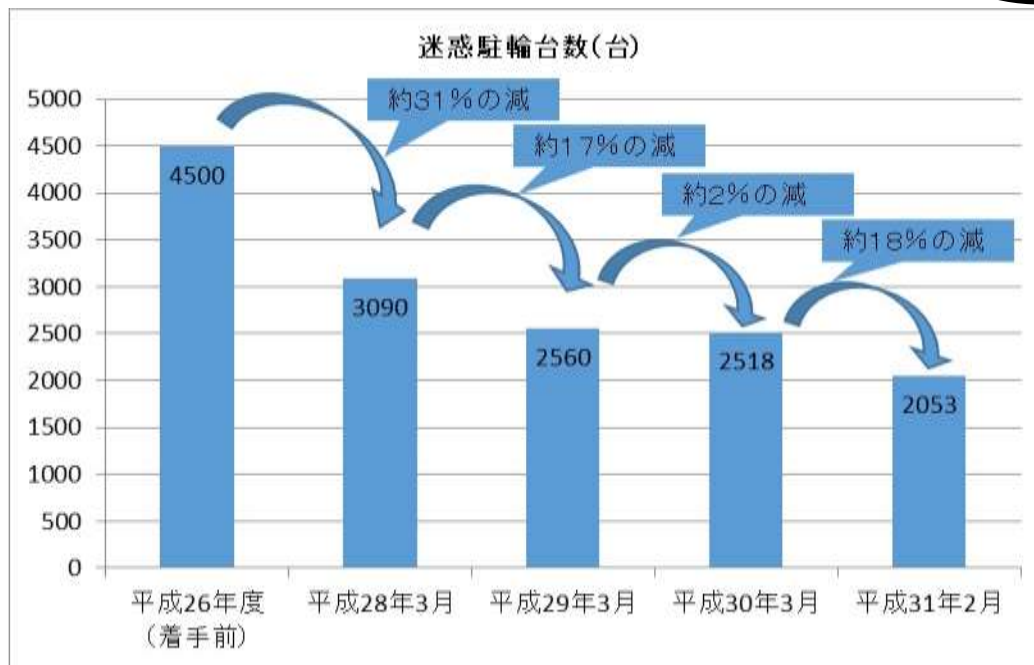
29予算額	4-1-1に含む	30予算額	4-1-1に含む
-------	----------	-------	----------

目標	目標値	H30結果
あいりん地域内の迷惑駐輪台数	平成29年度目標台数の2,000台を維持	約2,000台

達成

取組実績

- ・地域内自転車置場(約1,120台)の清掃及び整理整頓を実施(随時)
- ・長期間放置自転車への啓発エフ取り付け(292日)
- ・長期放置自転車の撤去(1,732台)





自転車置場の周知及び利用啓発



長期放置自転車撤去

自転車置場の整備状況

南海新今宮駅南高架下自転車置場
完成年度:平成27年度
収容台数:約300台



南海新今宮駅南高架下自転車置場

住吉神社前通線自転車置場
完成年度:平成29年度～30年度
収容台数:約270台



住吉神社前通線自転車置場

尼崎平野線南側自転車置場
完成年度:平成28年度
収容台数:約30台

阪堺線西側自転車置場
完成年度:平成28年度
収容台数:約300台

三角公園南側自転車置場
完成年度:平成26年度
収容台数:約60台



経営課題4 あいりん地域対策

具体的取組4-1-3 通学路安全対策

29予算額	2,343千円	30予算額	1,996千円
-------	---------	-------	---------

目標	目標値	H30結果
あいりん地域の住民や関係者へのアンケートにおいて、「いまみや小中一貫校の通学環境がよくなったと感じる」と回答する割合	60%以上	60%

達成

取組実績

【防犯カメラ】

- ・通学路の安全確保のため、防犯カメラ52台の安定運用実施
- ・捜査関係事項照会 254件

【拠点施設】

- ・警察との打ち合わせ、巡回時の見守り立ち寄り等に活用

具体的取組4-2-1 結核健診の拡充による患者の 早期発見・早期治療

29予算額	19,445千円	30予算額	19,121千円
-------	----------	-------	----------

目標	目標値	H30結果
西成区で実施する結核健診(本館・分館・あいりん健診・地域健診等)受診者数	9,000人以上	7,948人

未達成

取組実績

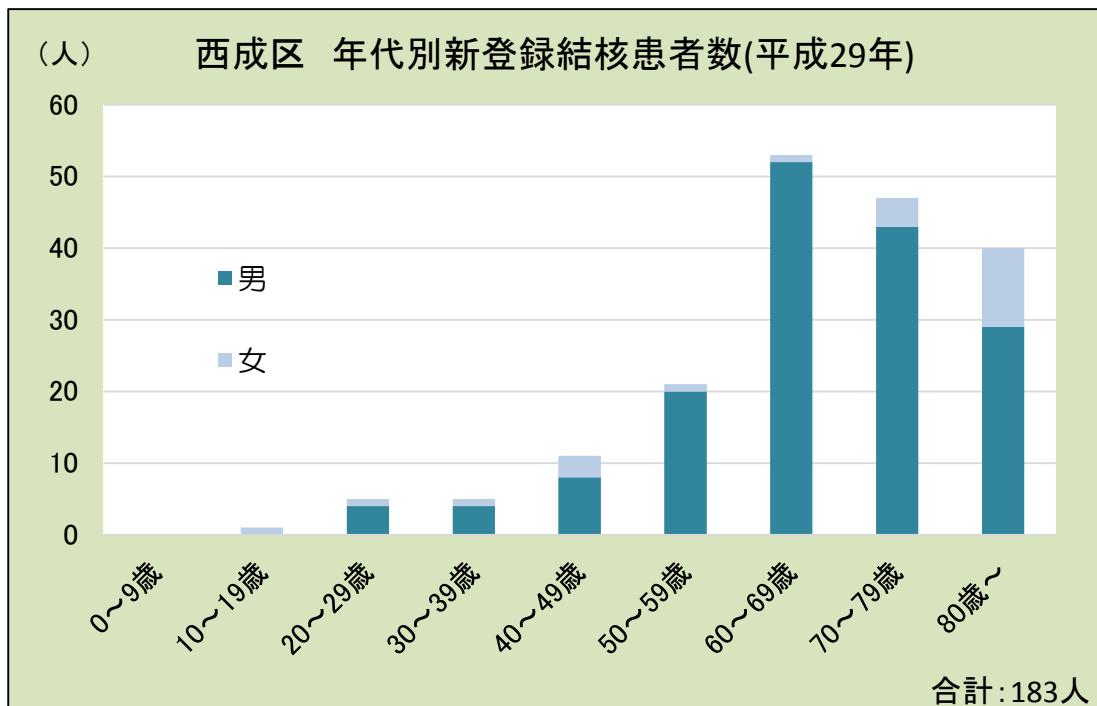
- ・西成区保健福祉センターでの健診を月17日程度実施
- ・あいりん地域内健診を45回(内、夜間2回)実施
- ・西成区内医療機関での健診41カ所委託実施
- ・検診車による地域健診を7カ所実施

■西成区で実施する結核健診受診者数

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
受診者数(人)	8,109	9,409	8,678	9,045	8,761	7,948

課題と改善策

- ・受診機会を増やすべく取り組んでいるが、受診者数が伸びていない。健康意識の低い層に対する受診勧奨や、区民に対する健診受診の周知方法に工夫が必要。
- ・生活保護新規申請者の受診率が減少しているため、ケースワーカーとの連携を強化し、受診勧奨に努める。
- ・発病リスクの高い高齢者の受診率向上に向け、介護事業者や支援者に対して健診の重要性について普及啓発に努める。
- ・患者発生アパートにおいて、個別に受診勧奨を実施することにより、健診の重要性を意識づける。



経営課題4 あいりん地域対策

具体的取組4-2-2 結核患者の支援の充実

29予算額

34,845千円

30予算額

33,937千円

目標	目標値	H30結果
新登録肺結核患者の治療失敗・脱落中断割合	3%以下	2.9%

達成

取組実績

- ・あいりんDOTS開始数
拠点型46名、訪問型15名
- ・あいりんDOTS実施者のつどい月1回開催
延べ250名参加
- ・「あいりん結核患者療養支援事業」居所確保
地域内個室41名、地域内大部屋18名利用



あいりんDOTS 拠点型の様子

経営課題4 あいりん地域対策 自己評価のまとめ

◇あいりん地域環境整備

街路における不法投棄ごみ収集量は、台風の影響を受け9月以降一時的に増加したものの、投棄ごみが散逸していない状態を維持している。また、公園における不法投棄ごみ収集量(一般廃棄物)は、目標を大きく上回る前年比40%減となっており、平成30年度から取り組んでいる公園における不法投棄対策の成果が現れている。

迷惑駐輪台数たがは、自転車置場の利用促進、長期放置自転車撤去等により目標としていた2,000台まで減少させることができた。

引き続き、さらなる環境の改善及び、改善した環境の維持・定着に向けた取り組みを進めていく。

◇あいりん地域を中心とした結核対策

区全体の新登録結核患者数の減少は鈍化傾向であるが、喀痰塗抹陰性患者の割合が増加していることは、患者の早期発見ができていていると考えられる。しかしながら、健診受診者数が伸び悩んでいることから、区民に対してこれまで以上に健診受診の重要性を普及啓発していく必要がある。